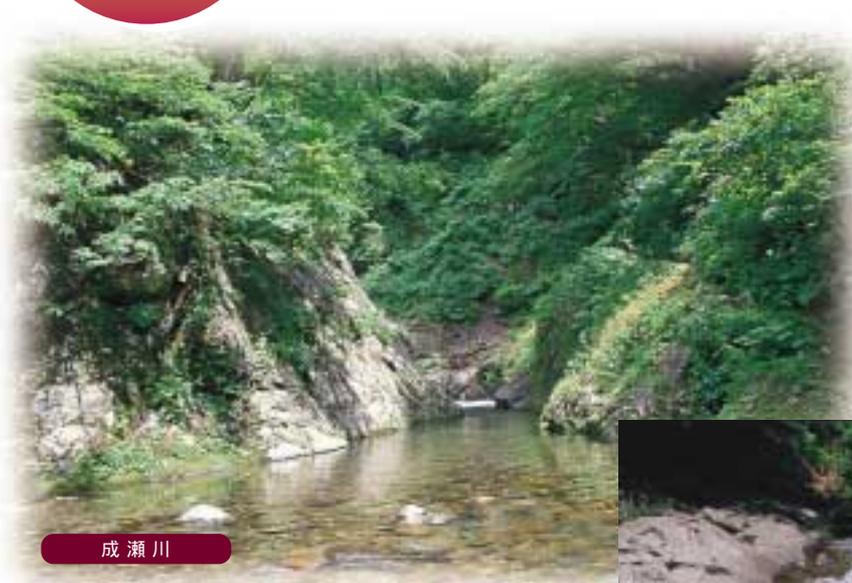


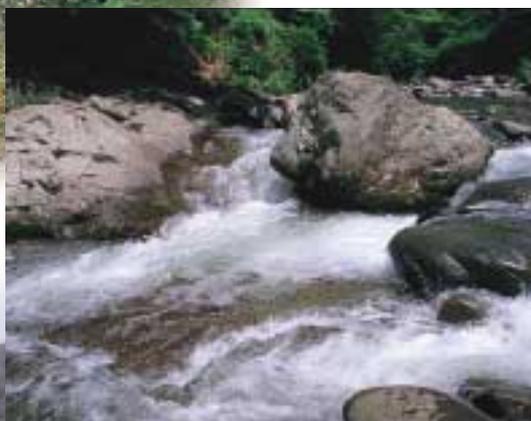
2005
夏号



成瀬川



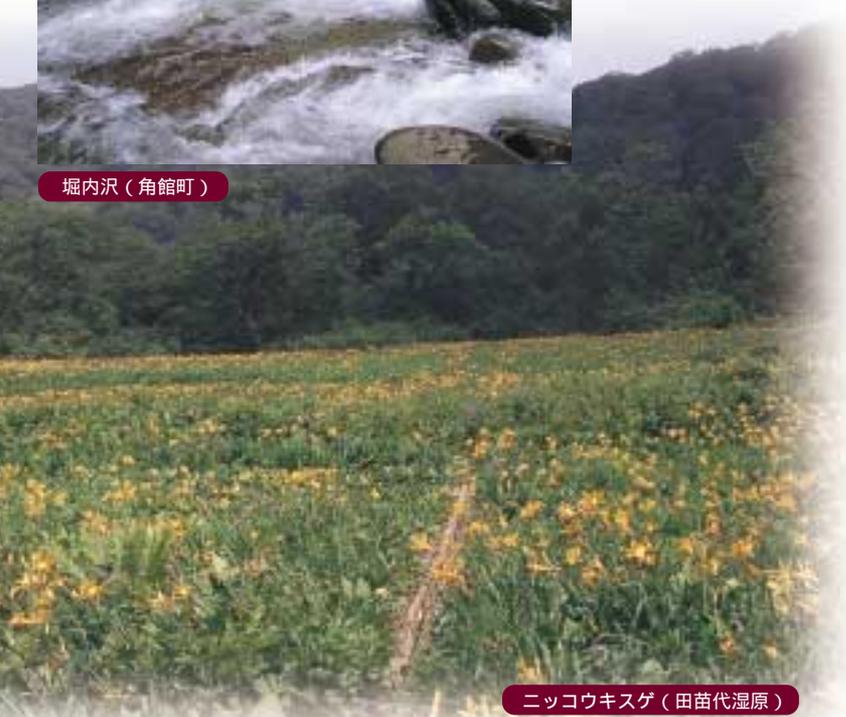
オオバミズホウズキ(藤里町)



堀内沢(角館町)



ハクサンシャクナゲ(田苗代湿原)



ニッコウキスゲ(田苗代湿原)

目次

平成17年度総会を開催しました!	2
EVS21参加レポート	3
会員活動紹介	4
あきた環境優理事業所認定制度	5
トピックス	6 ~ 7
お知らせ	8



平成17年度総会を開催しました!

平成17年4月23日(土)午後2時から、事務局のある秋田市の遊学舎で平成17年度特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム総会を開催しました。社員49名中、委任状も含めて39名の出席がありました。

山本久博理事長のあいさつの後、橋鑛司理事を議長に選任しました。

16年度報告につきまして、会員から収入の部、補助金の内容について質問があり、秋田県生活環境文化部の杉本俊比古氏より法人事業への支援という説明がありました。会計監査員の鈴木明夫税理士から会計監査報告を行っていただいた後、承認可決しました。



監査報告 鈴木明夫監事

17年度事業計画(案)、収支予算(案)につきましては、特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム事業と秋田県地球温暖化防止活動推進センターとしての事業計画案、収支予算案の説明の後、承認可決しました。

社員から、「あきた環境優良事業所認定制度」の申請事業所が認定された後の効果や経過についての質問があり、ステップ2認定事業所の緑設計(株)、板垣氏から「現地審査員の丁寧な審査とアドバイスの有用性、事業所全体の意識変化が起き、実際に紙の使用量の減少効果があったこと」などのお話がありました。当法人の制度担当理事、小西和博理事からは「1年経過した時点で報告をしていただき、また見直して前へという方向で進んでいきたい」という話がありました。



質問中

追加報告として「市町村合併による役員の住所表示の変更について」として、県の指導に従って役員3人の住所変更の手続きを必要とする旨の説明の後、承認され、閉会いたしました。



山本理事長あいさつ



説明中の小西和博担当理事

講演

総会終了後、「あなたの街にも作ろう発電所と節電所～環境価値は自分たちで作れ出す」と題して、山 求博(やまざきもとひろ)氏(NPO法人足元から地球温暖化を考える市民ネットエドがわ 副理事長/事務局長)の講演を行いました。



講師の山 さん

お寺の改築の際、大きな屋根にソーラーパネルを取り付けて「市民発電所」と名付けたり、古い冷蔵庫を省エネ・ノンフロン冷蔵庫に買い換えるだけで消費電力が激減して4分の1まで減る可能性もあるということに着目し、安くなる電気料金の分を無利子で融資し、5年間で返還してもらうといった活動についてわかりやすいお話をしていただきました。節電、省エネといったことが発電することと同じ価値を生み出すということが、よくわかるお話でした。



講演中

詳しいことは NPO法人足元から地球温暖化を考える市民ネットエドがわ <http://www.sokuon-net.org/>

報告

秋田県地球温暖化防止活動推進センターとしての事業概要は国の補助等の関係から、6月に入り決定しました。まず地球温暖化防止活動推進員等研修事業ですが、対象者は秋田県地球温暖化防止活動推進員の方々に、今現在、県内に81名おります。視察研修として、8月24日(予定)大館花岡地区・小坂町で同和鋳業グループのリサイクル事業施設見学を行う予定です。知識研修は10月2日中央地区、10月16日県北地区、10月23日県南地区において行う予定です。

また一般の方々を対象とする普及啓発事業では、12月の地球温暖化防止月間中に講演会等を開催いたします。その際には、皆様にお知らせいたしますので、どうぞご参加ください。

なお、この4月から事務局が遊学舎内の交流棟へ移動しました。少し広くなり、パンフレット等を置いてありますので、ぜひお立ち寄りください。



大公宮殿から見下ろすモナコの景色

EVS21 参加レポート

レポーター：米田 裕之

(秋田県由利地域振興局総務企画部(16年度；生活環境文化部環境政策課))

平成17年4月2日から6日までの5日間、モナコ公国において、「EVS21(第21回世界電池・ハイブリット・燃料電池電気自動車シンポジウム&展示会)」が開催されました。EVSは、“Act now for sustainable mobility”(簡単に言えば「地球にやさしいくるま社会のために今行動しよう」でしょうか)をメインテーマとする、電動車両関連分野における世界最大の国際シンポジウム&展示会で、1969年のアリゾナ・フェニックスEVS(アメリカ)から今回のモナコEVSまで21回を数えます。期間中は事例・論文発表、製品展示、試乗会に研究機関、業界、政府、自治体などからたくさんの団体、個人が参加し、大変な賑わいを見せていました。

このEVS21に、秋田県が世界の先進11自治体のうちの1つとして招待を受け、私と「クリーン・エネルギー・アライアンス」から山本久博さん(環境あきた県民フォーラム理事長)が参加し、世界の聴衆を前に、県の概要及び「ワールドソーラーカーラー」や「ワールドエコノムープ」による太陽光発電や燃料電池等の普及啓発活動について発表を行いました。

秋田県に加え、ニューヨーク、ストックホルム、北京などの自治体がそれぞれの取り組みを発表しましたが、秋田県のように地域興しとともに将来の技術者の育成をも見据えたユニークな取り組みをしている事例は他になく、聴衆の方々からたくさんの拍手をいただき、良い評価を受けることができたなと思っております。しかしながら、路線バス、タクシーへの電気自動車、燃料電池自動車の導入など、都市交通システムとしての“Sustainable mobility”確立に向け、どの自治体も一生懸命取り組んでいて、この点については秋田県としても見習わなければと感じました。

世界中から多くの方々が集まり盛会となった「EVS21」。このような場所に私が県の代表として参加、「クリーン・エネルギー・アライアンス」の長年にわたる素晴らしい活動を世界に発信するお手伝いのできたことをうれしく思うと同時に、世界を前に英語で発表するという大変貴重な経験をさせて頂いたことを感謝しております。本当にありがとうございました。

今回訪れたモナコ公国は、南フランスの海岸線に位置する皇居の2倍ほどの小国でありながら、「地中海の宝石箱」と呼ばれる、世界中のセレブやお金持ちが集うヨーロッパ屈指の高級リゾート地。カジノ前にズラリと停まるベンツ、フェラーリなど高級車の数々、水1本500円以上という物価の高さ、コンビニが存在しないなど、出張期間中は驚きの連続でしたが、中でも一番の驚きは、会場から見た、遠くフランスのニースをはじめとするコート・ダジュールの海岸線と日差しを浴びて輝く紺碧の地中海という、「世界の絶景」でした。



プレゼンテーションの様子
左から進行役 Eric Britton氏
山本さん・米田



プレゼンテーションの様子
秋田県の地図が世界の舞台に!



山本さんのプレゼンテーションの様子
ソーラーカーのスライド!



F1コースを使った試乗会
「インサイト」、「プリウス」が注目を集めており、日本の環境技術の高さを認識。

電子部品の組み立てや自動化・省力化設備設計、製作、販売企業である仁賀保町の(株)ビッグでは、培ったノウハウを生かし、仁賀保町企業研究開発育成事業補助金を得て、自社独自製品として「リサイクルポット成型機」を開発、販売しています。鉢をつくる機械なので「はちろう君」という愛称で呼ばれています。

材料は新聞紙などの古紙と水だけ、使い終わった後、土に還るといこのリサイクルポット、屋内で使用した場合は5年以上の耐久性があるそうです。

県内のみならず全国の授産施設などへ納入しており、近隣にある納入した企業では環境配慮事業の一環としてこの「はちろう君」を購入し、自社の古紙などを利用して植木鉢をつくり、地域活動の折など、花苗を植えてプレゼントし好評を得ているそうです。自社の古紙リサイクルのみならず、地域の環境美化にも一役かっているようです。

効率良く生産しようという場合、材料の古紙を手でちぎる、水と混ぜる、脱水するといった手作業では無理が生じるため、材料と水を攪拌する「まぜろう君」、脱水して紙粘土状にする「しぼろう君」も製品化し、三点セットでの販売もしています。

あきたエコ&リサイクルフェスティバルにも登場したことがあり、目にされた方もいらっしゃると思います。この仁賀保生まれのリサイクルポット成型機「はちろう君」作の鉢に植えた苗木であれば、山に植樹をする際に、ビニールポットとは違い、鉢ごと植えることが可能になり、ゴミを出さずに済むという利点もあります。「はちろう君」の販路が広がればと思います。

同事業所内では、工程はもちろん、廃棄物の分別などが整然となされていて、環境配慮の姿勢がきちんと打ち出されていました。



はちろう君



まぜろう君 (攪拌機)



古紙が原料の鉢
(古紙の種類で色が違う)

連絡先 〒018-0402 秋田県由利郡仁賀保町平沢字鳥森133 - 1
TEL : 0184-35-4868 FAX : 0184-35-4889
URL <http://www.akitabig.com/>

「海辺の環境教育フォーラム2003年in石垣島」の分科会「海ガキを作ろう」に参加した60代の方が「昔は、山ガキ、川ガキ、海ガキがいて、私ら山ガキは川を下って海へ遊びに行ったものですわ」と言っていました。「ガキ大将がいて年齢も様々な子ども達とその廻りで夜まで遊んでいたネ。」「でもその中でいじめはなかったよネ。」「遊びも今考えてみればとても単純だったよネ。」「単純だったから工夫があって飽きずに遊び続けていたんじゃないの。」「今はどうでしょうか。いつの頃からかガキ大将がいなくなり、また海ガキ、川ガキ、山ガキも見えなくなりました。」

今はどうでしょうか。いつの頃からかガキ大将がいなくなり、また海ガキ、川ガキ、山ガキも見えなくなりました。

私たちが出来るのは今こそ「海ガキの素」を提供することではないかと考えています。

子供の頃は、秋田の海の季節はとても短いと思っていました。梅雨明けが7月後半、お盆の頃からクラゲが出るということで海からは遠ざかっていたものです。でもダイビングやウインドサーフィン始めてからは、保温用のスーツがあるおかげで真冬も潜っています。

私たちの海辺の自然学校では、子供も大人も皆ウエットスーツを着て海に入ります。浮力があって、保温力があって、けがや日焼けの予防にもなるからです。

安全にそして楽しく遊ぶ、そのための指導、安全管理の必要から私たちはダイビングインストラクター、酸素供給法インストラクター、日赤救急員、救助員、幼児安全法支援員を。また、自然体験活動、環境教育のプログラムを実施するためのインストラクターとしてプロジェクト・ワイルドやウエット、GEMS等の指導者としての認定も受けています。

また、今年からは文部科学省の「子どもの居場所づくり」にも参加して通年「海ガキの素」を提供していくことになりました。ぜひ皆様にも参加して頂きたいと思っています。詳しくはホームページ <http://www.asahi-net.or.jp/DQ6S-UCY/> でご覧ください。

自然観察会、自然体験活動の紹介です。

秋田港海の祭典 (会場: 秋田マリーナ会議室)

7月30日(土) 「親子で楽しむ海辺の自然観察会」

7月31日(日) 「海辺のクラフト制作教室」・「体験ウインドサーフィン教室」
「体験カヌー教室」

海辺の自然観察会in戸賀湾 (会場: 男鹿市戸賀公民館)

8月6日(土) 「親子で楽しむ海辺の自然観察会」

8月7日(日) 「海辺のクラフト教室」・「体験ダイビング教室」
「体験カヌー教室」

連絡先 〒010-1424 秋田市御野場6-5-9 (打矢)

TEL : 018-839-4343 FAX : 018-829-2716

URL <http://www.asahi-net.or.jp/DQ6S-UCY/> E-mail a_umibe@yahoo.co.jp



フローティングスノーケリング



体験ダイビングの後で



集合写真

あきた環境優良事業所認定制度 申請中！

STEP 1 マミヤ精密株式会社（象潟町）

取り組み目標	1	省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> 各職場の電気を昼休みと休憩時間等は、消灯します。・冷暖房機等の温度は、適正温度（夏：28度以上、冬：20度以下）に設定します。 空調設備及び、工場内動力機器等は、定期的に点検・清掃します。・パソコン等のOA機器は、不用時は電源を抜きます。 各職場の廃水の見直しを図り、効率的に使用できるように（水のリターン、リサイクル）に努めます。
	2	廃棄物の排出抑制とゴミの減量化	<ul style="list-style-type: none"> 廃液（廃水処理機）金属クズを削減します。・切削廃液（廃油）の削減に努めます。 各職場に分別回収ボックスを設置し、分別を徹底し、ゴミ量削減に努めます。 内部資料には使用済用紙の裏紙の専用箱を設置し再利用します。・従来、産業廃棄物として処理したゴミ類を見直し、リサイクル化します。
	3	環境に配慮した製品の使用（グリーン購入）	<ul style="list-style-type: none"> コピー用紙、名刺、トイレトーパー等は再生紙使用のものを購入し使用します。 エコマークが付いた環境に配慮した製品を優先的に購入・使用します。
	4	環境保全活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 環境維持保全の教育及び訓練指導をします。・5S委員会を設置し、定期的・継続的（1回/毎月）な活動を行います。 象潟町が実施する「国道花壇の花苗植栽運動」に参加します。 金属クズ廃棄物量の低減を図ると共に、マニフェスト管理を徹底し、法規制の順守に努めます。
事業概要	<p>1）当社は、昭和56年10月、埼玉県大宮市に於いて電子機器の光学ガラス加工を主要種目として設立し、平成15年8月、象潟町の誘致工業として北部工業団地に創業を開始致しました。重要方針として「習うより慣れる」として「よい製品をつくるう」をモットーに、お客様が安心できる製品製造に挑戦致しております。</p> <p>2）当社として、個々人が身の回りから環境問題に取り組み、社会的な責務として深く認識し、実行第一とし可能な限り進めてまいります。</p>		

STEP 1 サロン・ド・ローマ（北秋田市）

取り組み目標	1	環境に配慮した製品を使用します。	<ul style="list-style-type: none"> エコマークのついた製品の購入、使用に努めます。・トイレトーパーは再生紙を使用。
	2	日常業務において省エネルギーに努めます。	<ul style="list-style-type: none"> エアコンの温度管理・必要以上に電気器具は使わない。
	3	リサイクルの分別を徹底しています。	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトル、ビン、トレン金属の分別に努めます。
	4	化学薬品の適切な処理に努めています。（パーマ、カラー）	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤の使用に工夫 中和処理されたものを、流すように努めます。
	5	地域の環境保全に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> サロン周辺の清掃、整理・整頓に努めます。
事業概要	<p>美容一般を業としていますが、化学薬品の使用については使用量・廃棄する時の適正な処理に努めています。</p> <p>又、イオン発生器具を使用しております。</p> <p>18年度には、秋田八丈を開業する予定です。染織物を本業としますが、住みついているホテルや、自生しているセリ・クレソンを守るため環境汚染に特に気をつけて、安全安心を心がけます。</p>		

STEP 2 羽州観光開発株式会社 象潟シーサイドホテル（象潟町）

取り組み目標	1	省資源・省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> 購入電力量の低減・灯油使用量の低減・自動車用燃料使用量の低減・水道使用量の低減・コピー用紙使用量の低減
	2	廃棄物の排出抑制・リサイクル・適正処理	<ul style="list-style-type: none"> 裏紙の活用等によるコピー用紙使用量の低減・廃棄物の分別の徹底とリサイクル化 リサイクルボックスの設置・分別とリサイクル方法に関する指導の実施・生ゴミの水分を除去し、半減する
	3	節水・水の効率利用	<ul style="list-style-type: none"> 雑水（洗車、清掃、花の水遣り）へ地下水を利用・給湯ラインへ地下水を利用 客室、浴場等で蛇口の交換と節水コマを採用・シャワーヘッドを高圧・節水ヘッドに交換
	4	輸送に伴う環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> 社有車全ての運転管理（走行距離、燃料使用量、燃費、行先）を実施する 秋田県のアイドリングストップ運動に参加し、燃費向上に取り組む（6台登録） 今後購入する社有車は、順次低燃費車又はハイブリッド車に切替える 送迎バスは、人数に見合った大きさの車を使用し合理化に努める・車の環境に優しい運転の仕方について講習会を開催する
	5	グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> 全国ホテル協会が推奨するGPN（Green Purchase Network）取組みを達成するよう努力する コピー用紙のグリーン製品への切り替え・トイレトーパー、シャンプーをグリーン化する リネン関連製品、作業服、事務服のグリーン製品化・他のグリーン製品の調査と切替の促進
	6	社会貢献と地域の環境保全活動	<ul style="list-style-type: none"> 事業所敷地内の整理・整頓・清掃に努め清潔と安全を確保する・事業所敷地裏の海岸の清掃と不浄物の除去に努める 象潟町の「松を守る会」の趣旨に賛同し、積極的に参加する
	7	環境保全のための仕組み・体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 環境改善理念と実施のために「象潟シーサイドホテル環境方針」を制定し達成に努めます 環境改善の実施と推進のため「象潟シーサイドホテル環境マネジメントシステム組織体制部」を制定します 全国ホテル協会が推奨するGPN（Green Purchase Network）取組みを達成するよう努力します
事業概要	<p>羽州観光開発株式会社は、昭和55年6月に鳥海山計地下深く埋蔵される温泉を発掘・開発することを目的として設立され、湧出した温泉を観光資源として活用する象潟シーサイドホテルを開業しました。現在、資本金は2.8億円、年商約4億円の地元企業として順調に伸ばしています。</p> <p>宿泊、宴会、レストラン及び上述の温泉浴場からなるホテル業を主たる事業内容としています。温湯と同時に湧出する天然ガスを主要燃料として活用し、また、眼下に眺望する日本海と背後に聳える鳥海山の自然景観を損なうことなく、環境に優しいホテルをモットーとして今後も発展したいと考えています。</p>		

STEP 2 ダイワ工業株式会社（金浦町）

取り組み目標	1	省資源・省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> 購入電力量の低減（不使用時にOA機器の電源を切る、エアコンの温度管理） 灯油使用量の低減（冬期間暖房使用時の設定温度管理厳守）・自動車燃料使用量の低減（アイドリングストップと燃費管理の徹底） 裏紙の活用等によるコピー用紙使用量の低減（再使用ボックスの設置） 化学物質の使用限度管理徹底による使用量の低減（使用時間、限度色見本）
	2	廃棄物の排出抑制・リサイクル・適正処理	<ul style="list-style-type: none"> 廃プラスチックの分別徹底による排出量低減とリサイクル率の向上・金属廃棄物の分別徹底による排出量低減とリサイクル率の向上 燃えるゴミの分別徹底による排出量低減とリサイクル率の向上・廃棄物の分別方法とリサイクルに関する指導・教育の実施 特別管理産業廃棄物の適正管理・処分方法の教育訓練実施と厳守 マニフェスト管理に関する法令順守教育訓練の実施と定期的順守評価
	3	化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の大きい化学物質の使用・保管方法等の教育の実施 塩素系有機溶剤等の使用削減と代替促進・塩素系有機気体（フロンガス）採用エアコンの使用抑制と業者による定期検査の励行 危険物貯蔵管理の適正化と緊急事態発生時の対応教育訓練の実施
	4	輸送に伴う環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> 社有車全ての運転管理（走行距離、燃料使用料、燃費、行先）を実施 秋田県のアイドリングストップ運動に参加し、燃費向上に取り組む（6台登録） 今後購入する社有車は順次低燃費車又はハイブリッド車に切り替える 車の環境に優しい運転の仕方について講習会を開催する・アイドリングストップ運動へ従業員の通勤車両の参加奨励
	5	製品の開発・設計、販売における環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> グリーン（再生材使用）原料調達可能性の調査と採用の促進・有害物質含有材料の無害品への使用切替（ex：鉛、塩素含有物質） 無害化について原材料メーカーへの切替交渉・切替実施・輸送包装の見直しにより過剰包装の改善及び通い箱への転換 省材料（資源）省エネルギー化設計への切替・促進・実施
	6	グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> グリーン化の可能性のある物品の調査・リスト作成・コピー用紙のグリーン製品への切替 トイレトーパー、及びリネン商品のグリーン化・作業服・事務服などのグリーン化・他のグリーン製品の調査と切替の促進
	7	環境保全のための仕組み・体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 環境改善理念と実施のために「ダイワ工業環境方針」の制定と達成に努力 環境改善推進のため「ダイワ工業環境マネジメントシステム組織体制部」を構築・環境改善の実施と推進のために教育訓練を実施
事業概要	<p>ダイワ工業㈱は、昭和44年11月にTDK㈱のフェライトコア成型用金型製造を目的として設立され創業しました。現在は、粉末冶金用金型、プラスチック成型用金型、プレス金型等、金型全般の製造を行っています。さらに、自動化・省力化機械の製作や部品加工、並びにプラスチックの成型型や金属プレスによる成型品等を生産しています。したがって、金型から機械組立、成型品まで金型技術に関する製品を、一貫生産が出来る工場として固有の技術を確立し、更なる飛躍を目指しています。</p>		

下浜海岸に緑の松林を取り戻そう!

日本海沿岸で、松くい虫被害木の立ち枯れた無残な姿を見て心を痛めた人が多いと思います。松林再生を願って、6月4日(土)秋田市の下浜海岸沿いで、クロマツ苗10,000本の植樹が行われました。

JR東日本とマックパリュ東北(株)、(財)イオン環境財団主催で行われたものです。下浜小学校グラウンドでの開会式で、来賓の方々のあいさつに、参加した子どもたちが丁寧に「おはようございます」と返事をして、場を和ませていました。この子どもたちの未来に緑の松林が育っていますようにというみんなの願いを込めて植樹が始まりました。

当日はボランティア約800人が長さ250m、広さ、およそ1.2平方mの範囲にわたって、30cm程度のクロマツの苗木を20本ずつ植えました。



日本海を望む植樹地

砂地に堆肥を混ぜて植え込み、また砂をかぶせていく手順を20回繰り返すと「結構な労働ですね」といった声が聞かれ、参加者たちは気持ちのいい汗を流していました。

羽後町の西馬音内小学校の子どもエコクラブでは、結成して初めての活動ということで、大方が1年生でしたが、3本、4本と植えていくうちに手際がよくなり、最後のほうではお母さんたちの手を必要とせずに上手に植えていました。

親子連れ、年配の方々、子どもエコクラブなど、年齢層さまざまの参加者は、10年経ったら、背丈が3m以上になるという事務局の説明に、「砂が流れないで、すくすく育つといいね」と、植えたクロマツを満足げに眺めて植樹地を後にしていました。



僕もがんばる



大看板

北秋田市で植樹祭 ~ 植えようよ 大地に緑 天たかく ~



綴子小学校の皆さん

平成17年5月28日(日)第56回県植樹祭が、鷹巣・合川・森吉・阿仁町の合併で誕生した北秋田市の大館能代空港周辺ふれあい緑地で行われました。

当日は真夏を思わせる日差しで、抜けるような青空の下、緑の少年団、林業関係者、自治体職員、小中学生、一般参加者など約1,500人が1,100本の苗木を植えました。

ふれあい緑地の展望台脇に設置した記念碑の除幕のあと、綴子大太鼓を打ち鳴らす合図に合わせて、ドウダンツツジ、ヤマモミジ、アジサイ、ハナミズキなど23種の苗木は丁寧に土をかぶせられました。

植樹の後、森林育成や緑化活動に貢献のあった団体、個人、学校、それに、植樹祭の標語とポスターデザイン入賞者の表彰式な



丁寧に

どの記念式典が行われました。

会場の緑地には手作りの木製椅子が並べられ、終了後は参加者へプレゼントされました。会場内では竹笛や木工クラフト教室、植樹祭のパネル展、しいたけホダ木などの産品即売が行われました。

式典終了後、参加者たちは、思い思いに陣取って子どもたちの太鼓の演奏や踊り、中学・高校生の吹奏楽、綴子大

太鼓などステージイベントで楽しんでいました。

植えた苗木が、植樹祭テーマのようにすくすくと育ってほしいものです。

(詳細は)

秋田県森林環境対策室「水と緑のあきた」

H P <http://www.pref.akita.jp/forest-p/mizu/index2.html>

環境カウンセラーのつぶやき 津村 守

「環境マネジメントシステムって何ですか？」
 - フォーラムに集みましょう -

10年くらい前は、世の中で「環境マネジメントシステム(EMS)」を知っておられる方は少なかったと思います。当時は大きな企業が取得して環境の免罪符のようにアピールしておりました。測定分析の仕事がシステムについて問い合わせがあり、本をめぐりながら背中に伝わる冷や汗を感じて電話に出ていた頃の話です。



内部環境監査員養成風景(静岡県)

ごく最近まで、ISOの冠が無いEMSは意味が無く、国や自治体、任意団体のシステムには魅力を感じなかったのですが、その誤りに気がきました。ISO以外の勉強をする機会があり、関係する方々との懇話で取り組みやすく、どなたもマジにやってい



我が家の庭の春のきのこ(農薬止めました)「トガリアミガサタケ」

ることが解ったのです。生活レベルを変えることなく環境をより良くし、次の世代に渡すことに変わりは無かったのです。

住んでいる地区と秋田県、行政は互いの年間予算を正しく活用するために様々な施策を展開します。時にはダブります。NPOと学校と職場もダブります。でも、それは同じ思いを持っていて環境を良くするためのものです。すそ

野が広がり、子供たちを先頭に意識が環境へ向いてくれています。小さなスコップで雪かきしていても、みんなでやれば効果はすごいのです。都会でコップに一杯の打ち水をすればヒートアイランドは解消されるかもしれません。

NPO、市民活動とばらばらに活動しているようでそうではありません。環境フォーラムが扇の要となり情報を共有しています。みんなで情報を寄せ合って懇話しませんか? x x カウンセラーも微力ですが頑張ります!

地球温暖化防止活動推進員等交流会

参加対象：地球温暖化防止活動推進員等
 日 時：平成17年2月23日（水）～24日（木）
 会 場：財団法人 主婦会館 プラザエフ（住所、地図、概要等はHP参照）
<http://www.plaza-f.or.jp/information/otoiwase/otoiwase.html>
 主 催：全国地球温暖化防止活動推進センター

【地球温暖化防止活動推進員等交流会へ参加して】

この交流会は、全国各地から参加の推進員（各県3名が3分科会に所属）が、地域を越えて実践知識や手法についての情報を共有し、活動の推進を図ることを目的として開催された。

JR・地下鉄四ツ谷駅前にある会場の主婦会館/プラザエフは、屋上に太陽光パネルを設置し、毎月の発電量と前月比を9階会議室スズランの入り口付近に掲示している、自然エネルギー活用施設である。

交流会は、基調講演で始まり、全体総括で終了した。

実践知識や情報を共有し、今後の活動につなげる討議を行う分科会では、2名の話題提供者の実践等を聞き、グループ別にテーマに添った討議と発表を行った。発表等から北は行政との連携や実践が進行していること、南は今後の進展が期待されることなど地域による傾向が分かった。籤で偶然同席することになり、2日間を共に過ごしたグループ員の中には、秋田に出自のある方やその後秋田市のエコフレンドステップアップ講座で講師に招いたNPO

の方がいた。

1日目の夕刻に開催された懇親会では、登壇者が引きもきらずで、様々な情報が得られた。用意された料理は一巡目ですべてお腹に納まり、残り物は皆無であった。

2日目の分科会/全体総括の折にも情報の共有化が図られた。参加者には、環境カウンセラーや各県の推進センター担当者、各地の環境関係部署の担当者も多数いたことも分り、交流の目的は予想を越えて達成できたと感じた。



交流会参加の蝦名さん（中央）

（秋田県地球温暖化防止活動推進員 蝦名萬智子）

今年の2月に開催された全国の地球温暖化防止活動推進員などを対象とした交流会に参加させていただきましました。日程は2日間で、最初に中央環境審議会地球環境部会長を務めておられる浅野直人氏（福岡大学法学部教授）の基調講演があり、その後3つの分科会に分かれて2日間にわたる研修を受けました。

基調講演では地域での温暖化防止活動の進め方へのアドバイスや普及活動の効果を高めるために必要なことなどがテーマとなり、浅野氏によれば現在は温暖化については知る人が増えたものの、実際にその防止に繋がる行動をしている人は、まだ少ないのが現状とのこと。私たち推進員の役割として求められるのは「地域の方に地球温暖化について良く知ってもらい、それを防止するための方法を伝

える」ということだと実感しました。まずは、秋田県にできた地球温暖化防止活動推進センターの存在を多くの方に知ってもらい、センターとしても温暖化防止に役立つ情報や普及活動の支援ができる機能を高め、地域から地球全体の環境を考える拠点となるよう推進員として支援していきたいと考えております。



原田さん

（秋田県地球温暖化防止活動推進員 原田美菜子）

大潟草原でバードウォッチングとクリーンアップ

大潟村の国指定大潟草原鳥獣保護区で5月15日、野鳥観察会とクリーンアップが行われました。バードウォッチングをしながら自然の豊かさや大切さを感じてほしいと環境省東北地区自然保護事務所が日本野鳥の会秋田県支部の協力で実施したものです。

この地域は、オオセッカ、コジュリン、オオジュリン等草原性鳥類の繁殖地として重要な地域で、5月にはコジュリンやオオヨシキリなどが多く見られ、アオサギのコロニーでは子育ての最中です。

野鳥観測ステーションに集合した24人の参加者は、望遠鏡をのぞきながらアオサギのコロニーや沼のコガモやカルガモを観察し、野鳥の会の講師から説明を受けました。あいにくの雨模様のため、アオサギは親鳥が巣から動かずに雛に雨が当たるのを防いでいるとの説明にうなずき、すぐ近くの枯れたヨシの茎のうえでカワセミがコバルト色の美しい姿を見せたときには歓声があがりました。外では、オオヨシキリのさえずりが、あちこちから聞こえるヨシ原をオオジュリンやコジュリンを観察。ヨシの茎にとまった頭巾をかぶったように頭の黒いオオジュリンを見つけて双眼鏡を向ける一方で、なかなか見つけられない参加者もいました。

野鳥観測ステーション西側の村道に沿って鳥獣保護区をクリーンアップ。空き缶やペットボトルなどでたちまちゴミ袋一杯になるほどで、きれいになった鳥獣保護区ではオオヨシキリの「ギ

ョギョシ、ギョギョシ」と喜びの？さえずりが聞こえました。最後に今日の観察会で見たり・聞いたりした野鳥の「鳥合わせ」を行い、29種と確認して観察会を終えました。

（29種は<http://www.eco-akita.org/topics/128/index.html>に掲載）

連絡先 〒010-0951
 秋田市山王3-1-7 東カンビル5階
 環境省 秋田自然保護官事務所
 TEL：018-867-8588 FAX：018-867-8589



拾い集めたゴミの山



見える～？

クイズ 3 大人が生きていくために一日に必要な水の量は、どのくらい？
 1リットル 3リットル 5リットル

～ つなげ・ひろがれ あきたの森と川と海 ～ 「水と緑のサミット」を開催します。

秋田県は、水と緑の月間の7月に、「水と緑のサミット」を開催します。「水と緑のサミット」では、森林、河川、湖沼、海などで保全活動を行うボランティアや公共団体の『フィールドを超えた連携』をどう進めるかなどについて話し合う、公開シンポジウムを開催します（入場無料。イス席は先着200名）

- 日 時 平成17年7月23日（土曜日）10：00～16：00
 会 場 秋田市民交流プラザ「アルヴェ」一階きらめき広場
 内 容 (1)映像とトーク 水中写真家 中村征夫 氏 / 13：00～14：15
 (2)パネルディスカッション / 14：30～16：00
 ・パネリスト 海、川、森、農業、自然体験の各分野の代表5名
 ・コーディネータ 穴戸 豊和（魁新報社論説委員会副委員長）
 (3)水と緑の活動展示コーナー
 ・ボランティア団体や関係機関の活動状況を紹介。10：00～16：00
 主 催 秋田県森林環境対策室（電話018-860-1750 Fax018-860-3838）
 ホームページ <http://www.pref.akita.jp/forest-p/mizu/index2.html>



中村征夫 氏

森吉山麓高原での自然観察会

昨年、国指定森吉山鳥獣保護区内に「森吉山野生鳥獣センター」がオープンしました。森吉山野生鳥獣センター運営協議会（会長：岸部隆北秋田市長）では、野生鳥獣とのふれあい活動を推進するため、自然観察会を実施します。

(1) 自然観察会

月日（曜日）	テーマ	散策コースの概要	対 象	募集人員
7月10日（日）	森吉山の鳥獣とお花畑	野生鳥獣センターからヒバクラ登山コースを立川の源流部を経てヒバクラ湿原のお花畑を訪ねる	一般	20
8月28日（日）	森吉山の鳥獣とブナ原生林	野生鳥獣センターから桃洞・赤水分岐を経て天国の散歩道といわれる赤水渓谷を訪ねる	一般	20
9月25日（日）	森吉山の鳥獣とスギ原生林	野生鳥獣センターから天然記念物に指定されている桃洞スギの巨木を標高900mの高場森を訪ねる	一般	20
10月23日（日）	森吉山の鳥獣と紅葉のブナ林	黒石川林道出会いから野生鳥獣センターに向かってノロ川登山コースを下りながら紅葉のブナ林を散策する	一般	20

(2) 環境学習会

月日（曜日）	テーマ	散策コースの概要	対 象	募集人員
8月7日（日）	森吉山の自然と鳥獣	野生鳥獣センターから桃洞・赤水分岐を経て桃洞滝までブナ林を散策する	児童・保護者	20

お問い合わせは 環境省 秋田自然保護官事務所
 〒010-0951 秋田市山王3-1-7 東カンビル5階 TEL：018-867-8588 FAX：018-867-8589（担当：小松）
 （詳細情報 環境あきた県民フォーラムHP <http://www.eco-akita.org/information/index.html#08>）

予告！第5回あきたエコ&リサイクルフェスティバル、ことしも開催します。

秋田駅前アゴラ広場周辺で、10月1日（土）・2日（日）の2日間、家族、親子、お友達同士、当然、おひとりでも楽しく環境について考えたり体験したりできるイベントを行います。

ただいま、実行委員会でアイデアを練っているところですので、ご意見など、事務局までお寄せください。
 【事務局】・秋田県環境あきた創造課 TEL：018-860-1573 FAX：018-860-3881
 ・特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラムTEL/FAX：018-839-8309

水生生物に触れる▶
 （昨年のような）



入会について あなたも参加しませんか

未来の子どもたちのために、秋田の環境をよりよくしていこうという活動の応援団です。当法人の活動やこのフォーラム通信発行のために会費を負担していただいています。

会費

区分	社員	一般会員
企業・企業関係団体	1口：1万円 年1口以上	1口：1万円 年1口以上
個人・民間団体	1口：3千円 年1口以上	1口：1千円 年1口以上

会費納入について

秋田銀行 県庁支店 普通 560425 北都銀行 山王支店 普通 6099633
 郵便振替口座 02280-7-76146

いずれも特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム宛です。
 なお、フォーラム通信送付の都合上、銀行振込の場合は事務局にご住所、お名前をご連絡ください。

NPO法人 環境あきた県民フォーラム 秋田県地球温暖化防止活動推進センター ACCCA

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎（秋田県ゆとり生活創造センター）内
 TEL・FAX 018-839-8309 Eメール mail@eco-akita.org ホームページ <http://www.eco-akita.org/>

ストップ! 温暖化

事務局から

最近では政治家を初め、来賓あいさつといえば「地球温暖化の問題」を言わない人は、まず皆無です。皆さん、どこまで真剣に考えているのか、ご自身の生活で何か行動を起こしているのか、聞いてみたいなあ...
 全然、全く、ホントに無関心だった人が、ライフスタイルを見直そうと思うきっかけが何なのか、それがわかればなあと思うこのごろです。

クイズの答え

- クイズ1... 一日の呼吸の回数は2万回、1回に吸う空気量は0.4リットル。0.4×20,000=8,000リットル
 クイズ2... 人間の体を10とすると、大人で水分の割合は6から7です。赤ちゃんは、もっと多くて8くらいです
 クイズ3... 体重の15%以上の水分がなくなると命が危ないといわれています。 出典：出展「エコマークをみつけてみよう！」第6巻